

## 平成30年度大阪府立八尾支援学校 第1回学校運営協議会報告

□日 時 平成30年7月24日(火) 午前10時～12時

□場 所 大阪府立八尾支援学校 プレイルーム

□学校運営協議会委員会名簿

◆学校運営協議会委員（50音順）

岡崎 裕子 (大阪大谷大学 教育学部 教授)  
御前 敬 (八尾市障がい福祉課 課長)  
唐渡 清美 (東大阪市立第一はばたき園 園長)  
竹井 雅代 (本校PTA 会長)  
西 喜一 (上之島地区福祉委員会 委員長)  
山崎 高義 (東大阪市立障害者就業・生活支援センター 所長)

◆大阪府立八尾支援学校

東野 裕治 (校長)  
森本 裕 (准校長)

◆学校運営協議会事務局

岡本 泰宜 (教頭・高)	山田 美也子 (教頭・小中)
山崎 静一 (事務長)	荒木 智恵子 (首席)
井川 忠都 (首席)	松永 記一 (首席)
荒木 聖 (首席/部主事・高)	松村 由美 (部主事・小)
長谷川 次郎 (部主事・中)	北本 一輝 (進路指導主事)

□出席者

委員6名、校長、准校長、事務局8名 計16名

□次第と協議内容（要約）

- 1 学校長挨拶
- 2 委嘱状交付
- 3 平成30年度学校運営協議会委員の紹介
- 4 平成30年度学校運営協議会事務局の紹介
- 5 平成30年度学校運営協議会長・副会長の選出  
会長 岡崎 裕子 様 (大阪大谷大学 教育学部 教授)  
副会長 竹井 雅代 様 (本校PTA 会長)
- 6 学校運営協議会 実施要項（案）の説明  
・学校協議会との相違点について

## 7 平成30年度学校経営計画と教職員の体制

### ○教職員の体制について

- ・初任期の教職員が多くなっており、育成が重要課題。男女の割合も考慮したい。

### ○学校経営計画について

#### ★校長より（小・中学部）

##### 中期的目標として大きな4つの柱

##### ①支援学校における教育力の向上、組織としての専門性向上

初任者や経験の少ない若手がたくさんいるので、教育力や専門性の向上を最重点とする。

##### ②自立・自己実現、社会参加に向けたキャリア教育・進路指導の充実

共生社会に向け、キャリアをしっかりと自己選択できるようにする。高等部だけではなく、小・中学部からしっかり取り組む。

##### ③センター的機能の充実・発揮と、開かれた学校の推進

##### ④安全・安心な学校づくりの推進

今回地震や豪雨を実際に経験することにより、これまで準備してきたがまだまだ足りないところもあると感じた。もしもっと大きいようなことが起きた時どうするか、さらに詰めていく必要がある。

#### ★准校長より（高等部）

まず就労に必要な力をつけていく。仕事をしていく上での技術は就職してからでもつけていけるが、社会人としての力、例えば自己理解やマナーなどは、どのような仕事にも必要な力である。高等部ではそのような力をつけていけるカリキュラムの構築に注力したい。

高等部のめざす学校像と長期的目標は、小・中と同じである。

##### ②キャリア教育の充実

先に述べた観点から具体的に反映させていきたい。

##### ③センター的機能の充実

伝えるだけではなく、わかりやすい情報が伝わるように日々チェックを行っていく。

## 8 各学部の状況

### 小学部

#### ●児童数119名（昨年度より+14名）

毎年在籍児童数は増加し、クラス数も3クラス増加した。教室不足が課題。

#### ●教育目標

①身辺自立 ②コミュニケーションの基礎作り ③集団活動の基礎作り

#### ～教育課程～

（せいかつ）自立活動につながる取り組み。人との信頼関係を築く。「あそび」も含まれる。

（かず・ことば）国語、算数にあたる時間。課題別に分かれて学習を行っている。

（自立活動）学校生活全般で行っている。

（徒歩学習）週に1回。高学年になるにつれ距離も増え、交通ルールなどについての指導も。

（道徳）時間割の中に今年度から加わることになった。

(交流) 学校間交流 4～6年生と上之島小4年生、年に2回。本校3年生としょうとく園。

## 中学部

●166名 3学部の中で中学部の人数が最も多い。

●教育目標

①健康的な身体と体力を養う 毎朝のランニングに取り組んでいる。

②生きる力を育む ③集団への積極的な参加

●「集団」クラス・学年・学部で動くということに慣れてきている。運動会が1学期開催であったため、より集団での力、個の力がついた。

～教育課程～

●水・金アクティブ→総合的な学習としてさまざまな活動。H31年度道德の教科化に伴い、今年度はアクティブタイムの中で何時間か学年で取り組む。

→来年度は少し教育課程が変更になる可能性がある。

●教科 習熟度制 国～理7～8グループ 音・美・体3グループ

●進路状況 昨年受検1割。相談も多様化している。

## 高等部

●1年生45名 2年生32名 3年生30名

東大阪市在住生徒が小・中に比べて少ないのは校区割りが関係している。

クラス数は2クラス増え、地域の入学者数も増えている。

●教育目標

①健康で情操豊かな人物を育てる ②集団生活の力を育てる ③社会で活躍できる力を育てる

～教育課程～

●職業では、軽作業やSST(リ・ソールスキルトレーニング)など社会に出た時に生きる実践的な内容を重点として授業を行っている。

●ベーシックタイムや自立活動など生徒との関わりを大切にしている。

●今年度より3年生は夏休みに3日以上の実習に取り組む。

○卒業生の進路状況について

●昨年度卒業生27名 内6名一般就労 公共職業能力開発施設等2名  
地域の事業所18名 その他1名

●過去3年間で見ると14名の生徒が一般就労しており、1名は離職したが定着率は90%以上あり、アフターケアに力を入れている。

〈質問等〉

職員の男女比、長期研修、授業のユニバーサルデザイン、福祉サービス、アフターフォロー、災害時の連絡手段などについて

〈意見・感想〉

・パニックになる前の対応や研修が必要。

・福祉とのつながりを大事にする。福祉サービスについて保護者にしっかり説明する。

・進路担当者が替わってもしっかり引き継げるようにしてほしい。

- 小学部の徒歩学習が、多くの保護者に高評価を得ている。
- 次回以降の学校運営協議会時、実際に授業を見せてもらいたい。

## 9 学校教育自己診断

高等部生徒が行った結果に、「わからない」の欄へのチェックが多かったので、文言等について検討中である。

## 10 平成31年度使用教科書の選定

第2回の学校運営協議会で資料を提示する予定。

## 11 第1回授業参観アンケート 集計結果

- のべ328名より回答、どの学部も「そう思う」「だいたいそう思う」が多い。
- いただいた意見は今後の授業改善に役立てていく。

## 12 准校長挨拶

## 13 閉会 諸連絡

- 次回の学校運営協議会は11月～12月の間で予定。
- 第3回は2月頃。